

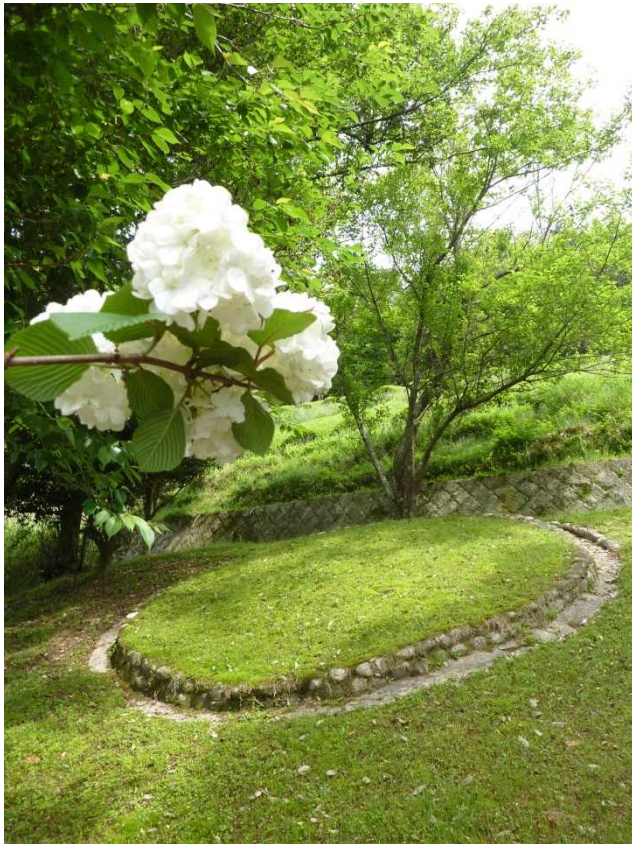
地域と共にある学校づくり推進フォーラム (和歌山) 平成30年8月23日(木)

奈良市田原小中学校の地域と歩む学校づくり



田原小中学校

～地域と共同したキャリア教育の視点でつなげる小中一貫教育



ぼくは田原のヒーロー茶っぱマン

奈良市から東へ8km、標高400mの大和高原に位置した自然豊かな地域

19町 約770世帯

生業 水稲 茶 などの農産物づくり

田原小中学校

児童生徒 63名

教職員 24名

古事記の編纂で有名な太安萬侶の墓
(徒歩10分)

コミュニティ・スクールとして

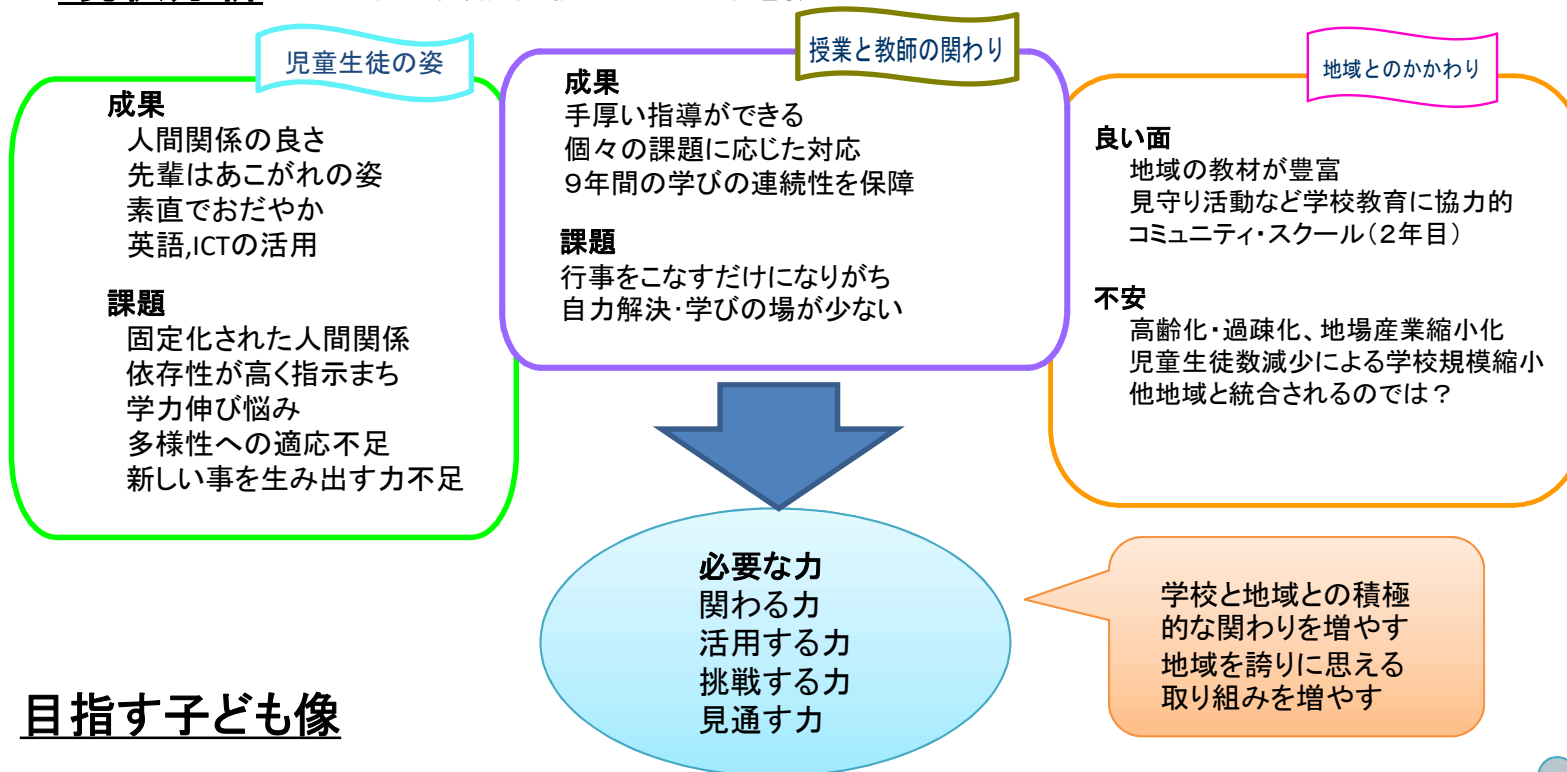
- 明治6年5月 創立(盛文舎)
- 平成17年4月 小中一貫校となる
- 平成20年6月 第1回地域教育協議会
- 平成27年1月 コミュニティ・スクールの指定
- 平成27年6月 第1回学校運営協議会の開催



河瀬直美監督の「殞の森」ロケ地

キャリア教育を核とした学校づくり構想in田原

現状分析 ～小中一貫教育校として12年を振り返って～



田原を誇りに思い、夢の実現に向けて
挑戦し続ける児童生徒の育成をめざす

- ・課題に挑戦する
- ・現状を分析し、未来を見通す
- ・地域に学び、自己実現を目指す

具体的な取り組み

キャリア

- ・小中一貫教育9年間のカリキュラムをキャリアの視点で見直す
- ・地域を生かした起業家教育に取り組むことで資質、能力を伸ばす
- ・地域を巻き込み、共に新たな産業や価値の可能性を探る

地域の素材を使った商品開発・販売
 地域人材の活用、講演、体験、児童生徒のプレゼンの参観・評価
 地産の活用(リンゴ狩り)(麻布織り体験)(お茶の学習)(市場でのアンケート)

つながり

- ・ICTを活用し、発表する力・発信する力を身につけ世界を広げる
- ・他の学校や地域と遠隔授業などで交流し視野を広げ、持っている力を活用する
- ・田原や奈良の未来を見つめ、積極的に社会と関わる力を育てる

ICTの活用、プレゼン、ポスターセッション
 世界遺産学習で大原学院と交流
 田原・京都大原・広島宮島との遠隔授業
 英語でインタビュー(5, 6, 7年)
 韓国中学生との交流

学び合い

- ・異年齢集団による高めあう学びによる、コミュニケーション力の向上
- ・思考力・判断力・表現力を身につける授業や行事
- ・アクティブラーニング(児童生徒が学びの主体者)を取り入れた授業研究

合同授業、中学校教師が小学校で授業
 ブロックや、全体行事(全体合唱)(部活動・委員会活動)(発表活動)(運動会)
 全教師が公開授業を持ち研修

地域

- ・コミュニティスクールを活性化し、さらに開かれた学校を目指す
- ・地域と協力して小中一貫教育小規模校サミットの開催
- ・どんごが丘コミュニティ広場を開設し、田原の教育の中心地に

茶っばマン隊によるボランティア活動で環境整備、学習補助、行事の補助
 田原でのサミット開催の協力
 幼稚園跡を利用したコミュニティー広場

検証の方法

取り組み

- ・コミュニティの評価(学校運営協議会)
- ・自己評価(ホームページで公開)
- ・振り返り

学力

- ・学力学習状況調査(学校だよりで保護者に公開)
- ・個の能力の変化(経年変化)
- ・英検、漢検

総括し、課題をもとに新たな目標を



CS以前からの取組①

地域の方との農業体験学習

大和茶を学ぼう



米作りを学ぼう



CS以前からの取組②

地域の伝統的工芸品の体験学習

奈良晒を学ぼう



CS以前からの取組③

地域の伝統文化の継承

祭文踊りを学ぼう



運動会で披露



地域の方も多数参加

奈良市無形民俗文化財

※現在、「祭文」は日本中で奈良市田原地区でしか継承されていません。



CS以前からの取組④

地域の方の様々な協力

放課後子ども教室



登校時の安全立哨



通学路清掃



CS始動(平成27年度～)



学校運営協議会

年間4回の開催

- ・様々な情報共有
- ・学校からのお願いなど

どんごが丘コミュニティ広場開設

旧田原幼稚園の活用



田原幼稚園の廃園

- ・平成28年度末
- ・学校や地域で活用するように



どんごが丘コミュニティ広場の活用例①

田原農園づくり



小学校の生活科
中学校の技術科
などで活用

※地域の方からの苗の提供も

どんごが丘コミュニティ広場の活用例②

放課後子ども教室の充実



観月会の様子



※公民館の家庭教育支援活動と
コラボレーション
地域の方(講師)と理科
教員(補助)の協力も

様々なボランティア会議

定例会



年間2回開催

※必要性・目的に応じて随時開催

例① 慶州女子中学校との交流に向けて

例② 小規模校サミット開催に向けて

例①



ホームビジットに向けて

例②



サミット地域ボランティア全体会

学校ボランティアの活躍①

国際理解教育の充実

《慶州女子中学校との交流》



昔遊び教室での講師



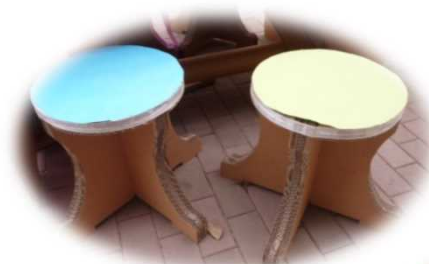
ホームビジット

学校ボランティアの活躍②

サミット開催への準備



ダンボールを用いての、
テーブルやイスの制作活動
(図工、美術をいかして)



※今年度も全校
給食で活用



学校ボランティアの活躍③

英語教育の充実



外国人観光客へ
インタビューをしよう



普段の授業や特別活動への支援

図書室の充実



掲示物作成 バーコード貼りなど

学校ボランティアの活躍④

学校美化作業の充実



どんごが丘整美作業

ふれあい夢花たんプロジェクト

地域の方が授業に参加

職場体験学習発表会



8年生(中2)の発表会(ポスターセッション大会)に参加

※発表者への評価や講評をいただく



地域の方が授業に参加②

起業家体験推進事業



平成28年度から開始(3年目)
3年間の共通課題
『自分たちにできる地域活性化の
取り組みを考え、**実行しよう**』

- 1年目:お茶商品づくり
 - 2年目:リーフレットづくり
 - 3年目:法被(はっぴ)を作成中
- ※地域の方が講師やプレゼン大会の
評価者として参加



地域の方が授業に参加③

起業家体験推進事業



窪田りんご園



原木しいたけ園宮中



暮らしの中のクラフト



はっぴ案プレゼン大会

地域とともに子どもを育てる

キャリア教育を柱につながる9年間

キャリア教育の充実

後期： 自己実現へ

→ 職場体験学習、進路学習など

中期： 地域で学び

→ 起業家体験

前期： 地域を学び

→ 校区探検、地域の宝物さがしなど

地域ボランティアの支え

積極的になった発信～田原をPR

テレビ会議システムの活用



京都市(大原学院)との交流



奈良市(椿井小)との交流

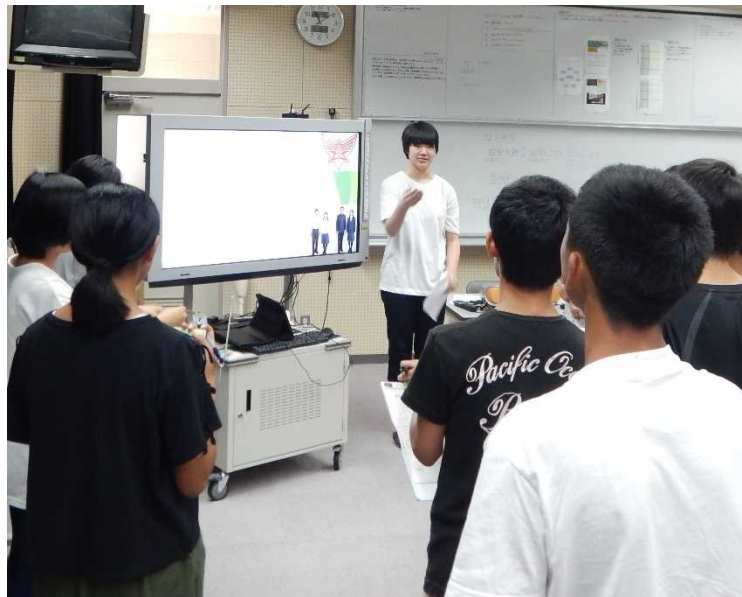
校外学習での発信



校外学習(京都)でのPR活動

積極的にになった進路学習

9年生高校調べ発表会



地域で育てよう！

田原小中学校コミュニティ・スクール



学校運営協議会で、学校と目標やビジョンを共有し、子どもたちのために地域ぐるみで連携しながら協議と協同による取り組みを進めていきます

学校運営協議会のしくみ



協議（評価・情報管理・広報）

目指す子ども像

田原を誇りに思い、夢の実現に向けて挑戦し続ける児童生徒の育成をめざす

協働

地域支援（地域教育協議会・放課後子ども教室）

学び支援（授業サポート・キャリア教育・伝統文化・公民館）

環境支援（環境・安全・図書・行事ボランティア）



学校教育目標

9年間の連続性・継続性を生かした一貫教育を行い、豊かな心と確かな学力を身につけた世界に羽ばたく人間を育成する

地域と協同したキャリア教育の視点
でつなげる小中一貫教育

- ・課題に挑戦する
- ・現状を分析し、未来を見通す
- ・地域に学び、自己実現を目指す

田原小中学校コミュニティ・スクール 組織図



学校運営協議会(コミュニティ・スクール)

【目標やビジョンの共有】
 目標やビジョンを学校と地域で共有し、協働して子どもを育成する
 教育基本方針説明、活動状況報告 教育上の課題提示

【評価・情報管理・広報・活動支援】



公民館

市家庭教育支援事業
 児童対象体験活動
 やま里体験活動
 など



バンビホーム
 働く家庭支援



**どんごが丘
 コミュニティ広場**
 田原幼稚園跡地
 施設利用

地域教育協議会

【奈良市地域教育推進事業】

中学校区を単位として、地域全体で子どもを育てる体制をつくり、子どもたちの教育活動の充実を図るとともに、地域の教育力の再生と地域コミュニティの活性化を図る。

放課後子ども教室
小学校運営委員会運営
 月1回水曜日
 子どもの居場所づくり

小学校運営委員会

中学校運営委員会



学校



家庭・育友会

学校育友会活動
 学校教育活動支援



地域

連合自治会、交通安全協会
 田原駐在所、少年指導協議会、
 学校ボランティア(茶っばマン隊など)

情報を共有し、地域・家庭・学校が協働・連携して子どもを教育（共育）します。